



平成29年1月

第 48号

# 医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902・1409

## 「医療連携新時代」

公立置賜総合病院副院長(兼)医療連携部長 山田昌弘

特集:

年頭のあいさつ

「医療連携新時代」

副院長(兼)

医療連携部長

山田 昌弘

・・・1

市民公開講座

・・・2～3

医療連携・相談室

からのお知らせ

Web 会議

(おきカンファ)の

開催スタート

・・・4

新年あけましておめでとうございます。申から酉年にかけては経済が乱高下するとの事ですが、今年の世界の状況はどうなるのでしょうか。期待より不安の年明けでしょうか。

公立置賜総合病院も開院以来 16 年が過ぎ、勤続 30 年ものわたくしも置賜病院勤務が一番長くなりました。開院以来、医療連携室を任されていますが、医療連携も新時代を迎える予感がしており、年頭に当たり一言述べさせていただきます。

「地域包括ケア」という言葉を最近よく耳にされると思いますが、少子高齢化社会に向かってこれからは医療と介護の連携がますます重要になってきます。さらに短時間に広範囲に多量の正確なデータを伝えるという点で ICT の利用は避けられないと思います。

「OKI-net」は病病、病診連携のツールとしてこれまで 15,000 人以上の患者さんにご利用いただき定着しておりますが、介護連携の場合は医療情報より生活情報が主体となります。多職種連携は移動のための労力と時間も伴う連携となりますので、それ専用のシステムが望まれます。

そこで介護連携用のツールとして「オキトピア」という closed SNS を利用したより使いやすいツールを開発いたしましたので、是非ご利用ください。



併せて、退院時カンファランスなど遠方からの参加に便利に「おきカンファ」というテレビ会議システムも作りましたので、これからの雪の季節などご利用いただければと思います。

これらのシステムはすべて地域包括ケアのための情報連携基盤と考えておりますので、地域包括ケアを成功させるためにも、今後の利用拡大を図ってまいりたいと考えております。

これら ICT を利用したツールについては、ICT リテラシーが問題となりますが、先般ご案内の通り今年度の診療報酬改定で OKI-net を参照した場合の診療報酬(30 点)が付き、今後も拡大していくと思われまますので、ご利用宜しく願いいたします。

末筆になりましたが、今年1年が皆様にとって安らかな年であることをご祈念申し上げます。

### 市民公開講座 置賜の明日の医療を考える

#### ～みんなで支える地域医療、みんなで育てる総合診療医～

11月12日 第8回「明日の置賜の医療を考える」講演会が当院において開催され、スタッフを含め63名の参加がありました。今回は「地域医療と総合診療医」をテーマに講演会とパネルディスカッションが行われました。以下講演内容をご参照ください。

#### 【講演内容】 演題「地域医療と総合診療医」

講師：公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所長  
台東区立台東病院 台東区立老人保健施設千束 管理者  
山田 隆 司 氏



私は、岐阜県の旧久世村という山村で、20年近く診療所の医師を務めました。今日は、私自身の個人的な話をご披露しながら、今盛んに言われている総合診療医について、基本的な概念みたいなものをご紹介できればと思います。臓器ごとの専門医が多くなり、全体を診る医師をなかなか育てにくい。そういった役割を担う医師が必要ではないかと思います。日本以外の国では、そういった家庭医、一般医を専門に育てています。日本でも総合診療医が注目されるようになりましたが、まだまだ量が不十分です。

よく医学概論で我々も「病を見ずして人を見よ」ということを言われます。地域では一つの専門性をもつより、よくあるありきたりの病気が診られ、全身が診られること。特に地域では、病初期に適切に対応できる能力を持ち、早くにコミュニケーションがしっかり取れて、患者さんの思いを知ることが大事なのだということ、私は体験的に学んできたと思います。

地域における診療所の医師や一次医療の医師は、幅広く人に関心を持つ必要がある。同じ病気を診るのが重要だとしたら、こちらは同じ人、同じ家族、同じ地域の人を見続けることで質が高まるというような気がします。一つの地域で同じ患者さんを見続けることで、安心とか安らぎを感じてもらえるのではないかなと思います。

一次医療、特に診療所のようなところで大事なことは、総合診療医として身近な医者であること、ずっとお付き合いをして全身を診る。ヘルパーさんたちと協働して、患者さんの尊厳、それぞれの気持ちをわかってあげる、そういったケアの担い手となることが総合診療医の重要な部分になると思っております。へき地医療は医学界のなかでもあまり評価されていないという感じだったのですが、患者さんの身近なところで役割を果たすことが、私としては非常によかったのかなと思います。

私の経験から、総合診療医の定義について、「主に地域を支える診療所や病院において他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他の職種などと連携し、地域の医療、介護、保健などさまざまな分野でリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービスを包括的柔軟に提供する医師」と書きました。まさしく、こういったことが地域に求められていると思います。総合診療医あるいは総合医の役割が、今後はより重要になってくるのではないかと思います。

患者さんもなんでも病院に行けばいいというのではなく、一人の信頼できるかかりつけ医を持ち、お互いに信頼を培い、医師を信用してほしいと思います。

【パネルディスカッション】

「みんなで支える地域医療、  
みんなで育てる総合診療医」



司会／公立置賜総合病院副院長（兼）医療連携部長	山田昌弘先生
アドバイザー／公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所長	山田隆司先生
パネリスト／小国町立病院 院長	阿部吉弘先生
公立置賜総合病院 総合診療科診療部長	高橋潤先生

当病院の総合診療医である高橋潤先生と、地域に密着している病院である小国町立病院院長の阿部先生にパネリストをお願いして、総合診療医の役割はどうあるべきか、についてお話をいただきました。

【高橋先生】

総合診療医とは、お母さんが作っている家庭料理のようなもの。その人の背景を見るとか、その人の人生を見る、地域を見るとというのが総合診療医としては大事。医学的に正しいことでも、本当にその人が望んでいることなのか、まわりの家族が望んでいることなのか、臨床倫理として考えなきゃいけない。また総合診療医として全てできるわけでないので、連携を大事にしていくことだと思う。



【阿部先生】

地域では人口が減少し独居老人割合が増加している。地域の高齢者もつ生活の不安、生活のしにくさに対して、地域にとって拠り所となるのが医療機関である。地域では一人の医師が多くの疾病を診る、全身を診ることが重要。『徒然草』に、「医療を忘るべからず」とある。衣食住と医療が、そろっていないのを貧しいという。地域医療を担うべき人材、それが総合診療専門医ではないか。



【山田先生のアドバイス：まとめ】

医療というのは、本当に欠くべからざる、水道や電気と同じようなインフラみたいなもの。医療がない所には人は住めない。そのくらい重要なこと。ただ医療が果たすべき役割は、単に病い、疾病だけを治すのではなくて高橋先生も言われたようにその生を支える、そこが非常に重要です。総合診療医のキーワードは、私はやっぱり地域だと思っています。研修医の内から地域と関係性をもつ。家族や人とつきあうことをうまくする、得意にする。そういう視点で医師を育成すべきだと思います。高齢化社会を迎え、地域で暮らし続けたい住民を支えるため、総合診療医のように地域をみる人材、そして地域連携、多職種協働の要になっていく人材が重要となります。



\* お詫び

約2.5時間の内容をかなり省略させていただき、掲載いたしました。主旨が不明な部分などありましたらお詫びいたします。詳しくは12月配送いたしました、議事録をご覧ください。

## Web会議(おきカンファ)の開催スタート



WEB上でかかりつけの先生に参加してもらい、退院前カンファレンスを開催しました。まだまだ件数は少ないですが、広い置賜で顔の見える連携を可能とするツールとして、今後積極的に推進していきたいと考えております。現在はOKI-net参加施設のみで運用スタートしております。OKI-netの参加と併せてご興味ある際は医療連携・相談室へお問い合わせください。

## “医療と介護の連携窓口”の設置



ホスピタルプラザの「相談窓口」の場所に「医療と介護の連携窓口」を共に掲げました。医療と介護の連携強化が叫ばれる中、訪問看護師やケアマネジャーからの情報提供などの際ご利用ください。院内関係部署との調整もさせていただきます。

あどがき

### 2017年のスタート

皆さまにとって良い年となりますように。  
今年も医療連携をどうぞよろしくお願いいたします。  
今年酉年(とり遊び)

アメリカの天下とりを成し遂げたトランプ氏の手腕と日本への影響力は見逃せない。人気とりだけではなく政治手腕が問われる。中をとり持つ安倍首相にも期待したい。とりあえずとりの目で高みの見物。

とり急ぎの問題はとりインフルエンザ。対策にとり組み…  
とり・・・とり・・・



公立置賜総合病院

〒992-0601

山形県東置賜郡川西町  
大字西大塚 2000 番地

TEL:

0238-46-5000

予約センターTEL:

0238-46-5700

FAX:

0238-46-5722

E-MAIL:

renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念  
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院組合

公立置賜総合病院

www.okitama-hp.or.jp